



NSバトルクライ

200

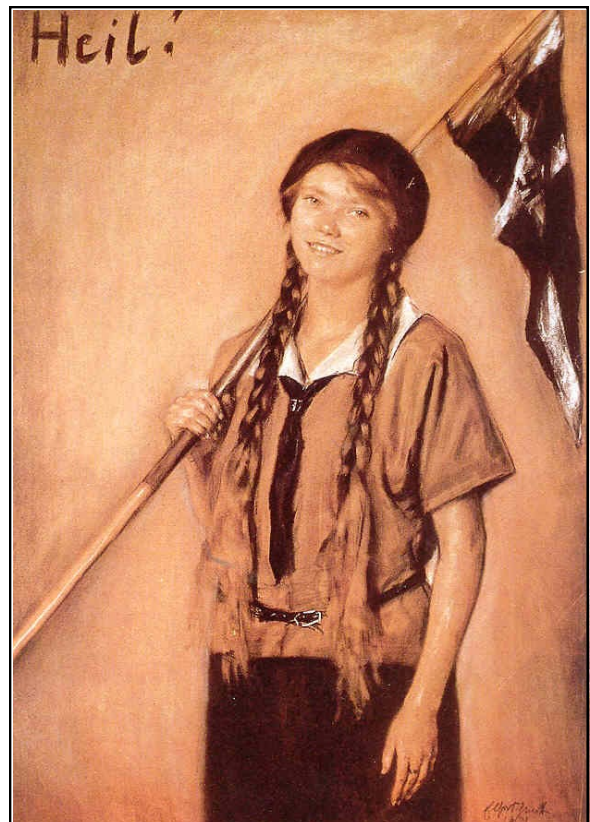
12 / 2023 (134)

レキシコン - Michael Kühnen

53 - 青少年

国家社会主義は、国民のすべての集団と階層に等しく訴えかけるが、特に若者の間に強い魅力と支持を常に見いだすことができる。特に闘争の時期にはそうである。革命を目指す国家社会党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）は、若者の自然な闘争本能に訴え、支配するマイナス世界のあらゆる物質主義と退廃の中で、その価値理想主義によって、それまで混乱していた若者の生活を価値と意味で満たしているのである。逆に、国家社会主義は-闘争の時代にも、国家社会主義フォルクスシュタートの革命後にも-若者を二重の視点から見ている。

彼は、若者の自然な反抗傾向を利用して、権力掌握後も続く絶え間ない文化革命と、国家の総動員を実現したので



す。

2. 革命後の第三世代、すなわち、国家社会主義によってのみ形成された最初の青年においてのみ、新秩序への取り返しのつかない移行が可能となる。そのためには、国家と党による全面的な刷り込みと教育、そしてこの若者に対する総合的な戦闘的・職業的エリート教育が必要である（「エリートと総統のプリンツィプ」も参照）。戦闘的なエリート教育は闘争の時代にすでに始まり、専門的な教育は主に革命後にエリート学校を通じて行われる（「エリート教育」を参照）。

現在、新戦線の「組織」は、政治的兵士の倫理を持つNSDAPの「シュトルム＝アブテイリュング」の精神と伝統に従って、幹部の形成に主として努めている。だからこそ、ドイツの若者をなによりも惹きつけ、若くして高い責任と役職を任せ、ドイツの未来を切り開くことになるのだろう。

若者を制するものが未来を制する！？

54 - CADER

国家社会主義ドイツ労働者党の悲劇的な歴史と1945/56 JdF後の組織崩壊の結果として、新世代の国家社会主義は、指導者に集中するのではなく、幹部運動として国家社会主義党を再建しようと努めているのである。

今日の国家社会主義者は、総統原理に従って組織された党を指向しており、個々の生きた人格を指向しているわけではない。ナチスの禁止とNSDAPの再創設のための戦いにおいて、新戦線は、それゆえ、幹部の形成を促進し、いかなる個人崇拜も拒否するのである。

新戦線は、大衆組織と国家社会主義者の幹部が統制する戦線組織を形成します。これらの幹部は、政治闘争のバックボーンを形成している。幹部とは、国家社会主義者の労働者と兵士の倫理に特別な程度まで従って生活し、党に対する不断の献身と犠牲、忠誠と規律を通じてこれを示す国家社会主義者を意味する。

幹部は運動の統一を保証し、彼らの忠誠心と規律は深刻な分裂や内

部抗争を防ぐ。

幹部は、その献身と犠牲によって、政治闘争の原動力となり、したがって、党員数や民衆の同調の変動にかかわらず、党のバックボーンを形成しているのである。

迫害と禁制の時代にあって、幹部たちは内なる結束と思想への忠誠のおかげで、思想の共同体としての生存と後の組織の再創造を保証している。

幹部は、政治闘争や扇動への抵抗、迫害や禁止、意見のための投獄の中で形成され、その後、特別な訓練を受け、それによって自分の任務と責任を認識させ、準備し、それに応じて配置されます。幹部の形成は、エリート形成の第一歩である（「エリート」参照）。

革命後は、迫害や抑圧といった闘争期間の当然の試練は、もはや必要ないのです。同じ程度、幹部とエリートの形成を引き続き促進し、緩み、ブルジョア化、大物支配の芽を摘むために、党自身によって新しいハードル、テスト、これまで以上に鋭い前提条件がつけられなければならない。このようにして、党は、ブルジョア時代（ブルジョアジーを参照）を労働者の時代で克服する条件をつくり、それによって、新秩序の実現を可能にする。

55 - 同志社大学

生物学的ヒューマニズムの世界観として、国家社会主義は、自然法則によって決定される生命の現実から出発し、したがって、人間を共同体的存在として論理的に定義するのである。共同体、とりわけ自分の民族の共同体（*Volksgemeinschaft*参照）だけが、人間を人間たらしめ、その人生に意味と価値を与え、種としての生存とより高い発展を可能にするのである。したがって、共同体という考え方は、国家社会主義の中心的な核心である。

しかし、人間は自由意志を持つ唯一の生命体であり、したがって、少なくとも一時的には生物学的な生命の法則に逆らって-退廃の代償を払って-生

きることができるので、人間の共同体が持続するためには、意識的かつ恒常的に結合しようとする意志が必要なのである。忠誠心なくして、共同体はありえない。しかし、その意志を呼び覚まし、強めるような人間関係、つまり仲間も必要です。

仲間意識はコミュニティの必須条件!

これは、すべての人間社会にあてはまるが、もちろん、アーリア人種の諸民族の意志の担い手として（アーリア人参照）、その種と自然に即した発展、自由、新秩序への道を戦う歴史的任務を引き受けた人々に特にあてはまる。国家社会主義の世界運動とその各国党（国家社会主義ドイツ労働者党参照）については、である。そして、党内では、何よりも、その政治的兵士の生活形態と組織が同志愛を必要とする（Soldatentumと Sturm-Abteilungを参照されたい）。なぜなら、それは何よりも闘争の時代における迫害の圧力に耐え、乗り越えなければならないからです。だからこそ、「同志であれ!」という戒めは、政治的兵士の人生において、信仰、闘争、規律、忠誠の要求に次ぐ第五の戒めなのである。

党の強さとその不滅の思想共同体は、思想と党に対する国家社会主義者の忠誠と、彼ら自身の間で同志愛に根ざしている。だからこそ、反逆罪とは別に、同志愛の欠如は党に対する最悪の犯罪なのだ!

同志愛とは友情ではなく、個人的な同情に基づくものではなく、同じ目標を達成するための共通の意志に基づくものである。国家社会主義者が同志を助け、必要なら自分の命を危険にさらして彼を支援し、弁護するのは、相手が個人的に同情的だからではなく、両者が同じ目標のために戦っているからである。個人的な感情が、党とSAの内部構造と対外的な影響力に負担をかけたり、脅かしたりすることは、決して許されないのです。だから、個人的な好き嫌いよりも、同志としての義務が高いのです。同じ信念を共有し、そのために最善を尽くして共に戦う者は同志であり、したがって、国家社会主義者の共同体の中で、家、理解、援助、保護を受ける権利と同様に、同志愛を順番に実践する義務を持っているのである。

国家社会主義者 - 同志であれ!

56 - ファイト

国家社会主義は、生物学的ヒューマニズムの世界観として、自然法則によって決定される生命の存在を前提としている。こうした生命の法則のうち、遺伝や分化を除けば最も重要なもののひとつが闘争である。この生存競争は、生殖を強くすることで最も生存力のある生命体の生存を、生殖を制限することで生存力の低い生命体を徐々に消滅させ、生存に適さず劣った生命体を駆逐することにつながり、自然界の基本的貴族主義、選択と最高のものの発展に対応する。したがって、闘争は万物の父であり、種の保存と種の発展の原動力である。

しかし、人間は、唯一知られている生命の形態として、自由意志を持ち、したがって、退廃の代償として、自然の生物学的法則に反して、一時的に共同体のように個人として生きることができるので、生存と発展を望む人々は、種と自然に従って生き、生命の基本原則として闘いを認め、人生に対して闘う姿勢を見出すために、意識的意志を起こさなければなりません。この意志は、国家社会主義によってアーリア人種（アーリア人参照）の人々の中に呼び起こされ、維持されている。新秩序の完全な実現までは、国家社会党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）が人民の意志の担い手として機能します。

国家社会主義の闘争へのコミットメント、人生の重要な原則としての闘争への意志は、大量破壊手段の時代にはマイナス選択に堕した戦争の賛美を意味するものではない。むしろ、このコミットメントと意志は、2つの根本的な政治的要求として実現される。コミュニティ思考とエリート教育

人間は何よりもまず共同体的存在であるから、民族と国家の生存を保証するのは、英雄的な個人の戦士だけでなく、この生存のための闘いを効果的かつ成功裏に行うために、戦闘的共同体に統合されなければならないのである。

しかし、これらの共同体をその性質と種にしたがって形成するためには、共同体生活は、戦闘的なエリートの絶えざる内的選択と総統原理によるその分断を必要とするのである。共同体の理念とエリートの形成が一緒になって、国家社会主義政党、国家社会主義国家、そして最後に、生存のための闘争をうまく乗り切った誇り高き自由な国家の創造を可能にする

（「誇りと自由」も参照のこと）。

権力奪取の前に、国家社会党の闘いは、何よりもまず革命のための闘いである。その倫理的（倫理を参照）な体現は、党内の政治的兵士の生活態度である。このように、信仰と鍛錬の要求に次いで、「戦え！」という戒めは、政治的な兵士の第3の戒めなのです。

戦いは政治的兵士の命！？

組織的には、この戦闘的な生活態度は、党のシュトゥルム＝アブテイルングに具現化されている。

57 - 資本主義

資本主義は、西欧型民主主義の経済秩序であり、人間の最も卑しい本能に絶えず訴えかけることに基づいている。エゴイズム、ねたみ、独占欲。それは自由主義のイデオロギーと結合して、自由資本主義の生活と経済秩序を形成し、その唯物論と価値相対主義によって、アーリア人種の退廃の動機となる（「アーリア人」を参照）。国家においては、このマイナス世界の支配体制は、議会主義にその表象を見出す。

マルクス主義の主張とは逆に、資本主義経済システムの特徴であり、その搾取的・反労働的性格の原因である生産手段の私有化ではなく、資本主義はむしろ、貨幣と貨幣の所有がすべての活動の中心にある経済システムであり、そこでは貨幣が「働き、利息を強制する（利息束縛を参照）」という倒錯した原理が適用されているのです。これは結局、十分なお金を持っている人はそれを「働かせる」ことで、自分が働かなくてもいいということにつながる。しかし、現実には、働くのは常に人間であって、資本ではないので、資本主義とは、資本家による、資本を持たない、あるいは、ほとんど持たない人々の労働力の搾取を意味するのである。

利子への束縛を伴う資本主義によるこの国内搾取は、国家間の国際的規模で繰り返される。世界の高等金融機関は、ここでは資本の集団的所有者として、まさに資本の創造者として行動する。利子束縛の頂点は、小さな資本家の一団が、ほとんどすべての国家の通貨制度と世界の通貨制度全体を支配することであるからだ。こうして、世界のほとんどの国家の主権は幻

想と化するのである。世界高等金融機関の経済的搾取利益の背後には、その道具であるシオニズムによる世界支配の企てがあるのである。

資本主義とその利子への束縛に対して、国家社会主義は、資本ではなく、労働をすべての経済活動の中心に据える、ヴォルキッシュ社会主義を掲げたのである。人間は経済のために存在するのではなく、経済は資本のために存在するのでもなく、資本は経済に、経済は人間に奉仕すべきなのでこの社会主義の経済的形態がコーポラティズムである。このようにして、国家社会主義は資本主義を克服し、労働者運動の目標である反資本主義、自由と正義の社会主義秩序を実現するのである。

58 - 階級闘争

マルクス主義の思想にとって、階級闘争は世界史の移動原理であり、この理論によれば、世界史は、生産関係とその結果としての階級闘争によってのみ運命的に決定されるのである。この理論によれば、封建制からブルジョアジーの支配へ、ブルジョアジーからプロレタリアートの独裁へ、そして最後に生産手段の共同所有と支配構造のない階級なき社会への移行は、階級闘争において必然的かつ不可避的におこなわれる。マルクス主義にとって、国家は階級闘争における搾取階級の道具に過ぎず、生産手段の私有を維持するために役立ち、これが世界中で排除されたときに滅びるのである。

政治経済理論としてのマルクス主義はとっくに反論され、宗教の世俗的代用としてのみ生きている。そこでは、階級闘争は人類の発展の表現であり、それは必然であるとか「科学的に証明されている」とさえ誤ってみなされているのだ。

これに対して、国家社会主義は、必然的で避けられない中間段階と最終状態を持つ歴史的決定論は知らないが、自然法則によって決定される生命の法則は知っており、世界史の結果を予測することはできないが、どの原因がどの結果につながるかについての記述は可能である。

国家社会主義の科学的認識論としての生物学的ヒューマニズムが認める、生命の最も重要な3つの法則は、次のとおりである。

生存競争における遺伝、分化、選択。この観点から、人種間の闘争は世界史の動く原理である。しかし、それは終わりが決まっている運命的な歴史の流れとしてではなく、不変の自然法則に従って種を保存し発展させることを目的とした、人種と民族の適応と生存のための開かれた闘いとしてである。

しかし、国家社会主義は、階級闘争の存在も認めている。そこでは、搾取する側の一団と搾取される側の大衆が互いに対立している。しかし、階級闘争は、生産手段の私有に基づくものではなく、利権への隷属に基づくものであり、これは国内だけでなく、国際的にも同様である。その結果、国家社会主義は、利子の束縛の打破を要求している。たとえば、国家社会主義ドイツ労働者党の党綱領の第11項では、利子の束縛の打破を要求しているのである。

階級闘争は、自由資本主義の社会秩序においても、マルクス主義の社会秩序においても、国家的事実であると同時に、国際的事実（利害に依存する人民の搾取）でもあるのである。この階級闘争において、国家社会主義は、労働運動の歴史的継承者として、一貫して、被搾取者の側に立ち、人民の自由のために立っている。それは、利子の束縛を打ち破り、ヴェルキッシュ社会主義を実現し、コーポラティヴィズムの社会・経済秩序を通じてと同様に、労働者の倫理を通じて、最終的に階級闘争を勝利のうちに終わらせる-そして、こうして真のフォルクゲマインシャフトを創造する。

59 「コーポラティヴ

企業主義とは、国家社会主義によって追求され実現されたヴェルキッシュ社会主義の目的実現後の国民経済の組織形態である。資本主義が国民経済の機械的な組織形態であり、人間の最低の本能である妬み、エゴイズム、所有欲に基づいているのに対し、コーポラティヴィズムは、その原理が有機的な国民経済を実現するものである。

りえきよりこうえき

このようにコーポラティブ主義は、国家社会主義者の労働者主義の倫理に

基づくものである。自分の場所で、自分の傾向、能力に従って、自分の力を尽くして、民族共同体のために働く人はみな労働者である-これが国家社会主義の人間教育の方法である。しかし、来るべき国家社会主義人民国家（国家を参照）では、すべての労働者は、職業的な線に沿って構成された大企業において、それぞれの仕事の分野に従って組織され、それによって、単一の大きな労働戦線を形成することになる-これがコーポラティヴ主義の目標である。

そのとき、国家における人民の同志の共同責任と共同決定は、もはや、今日の体制党の機械的装置を通じて行われるのではなく、そこでは常に幻想にとどまり、企業において現実のものとなるであろう。人間は、常に自分とは異質な存在であり続ける政党に生まれるのではなく、有機的な国家共同体の中で成長し、生活し、人生の大部分を国家共同体とその国家経済組織構造の中で働くことに費やすからである。ここに、彼らが目指す自由と共同責任の基盤がある（利益配分の項も参照）。また、国民経済の国家的枠組み計画は、企業を通じて行われる（「計画」の項を参照）。

企業の国家への統合は、国家社会主義党（国家社会主義ドイツ労働者党を参照）の下部組織であるAeitsfrontによる彼らの指導の助けを借りて、政治的に行われる。制度的には、たとえばNSDAP党綱領の第25節に示されているように、国家社会主義人民国家のコーポラティヴな構造を通じて行われ、人民の最高かつ中央の代表としてのシュテンドパルラメントが頂点に達する。

田の下で楽しむ

ゲルハルト・ラウクによる逸話集

25.

工場では、私がナチスであることを誰もが知っていた。しかし、工場はほぼ100%白人で異邦人だったので、私の政治は賛否両論というより、冗談の対象だった。(人は、非白人のクズが目覚まさせるのに十分なほど、ホワイトパワーに熱中することはない。また、ユダヤ人や白人リベラルの転向者がホワイトパワーに反対するよう煽っていなければ、ホワイトパワーに怒ることはない)。

ある日、私は会社に呼び出された。

「FBIかもしれない」と同僚に冗談でコメントした。

実は、FBIだったんです!

帰ると、同僚が「どうしたんですか?」

"ああ、やっぱりFBIだったんだ"と答えました。もちろん、誰もそれを信じなかった。

しかし、噂は速いので、すぐに真相を知ることができた。

ウォーターゲート事件以前の当時、FBIは体制に反対する政治家を困らせ、威嚇するために、雇用主、隣人、友人、親戚を「訪問」するのが好きだった。しかし、上記の全員が私の政治的信条をすでに知っていたのです。だから、一般的な反応は、「そうそう、彼がナチなのは知っている。でも、彼はいい人だよ」というものだった。

人を怖がらせることができない連邦政府は、さぞかし悔しい思いをしたことだろう。

チッ、チッ!

26.

工場は冷房がなく、夏はとても暑く、100度を超えることもしばしばでした。一度は110度を超えたこともありますよ。

当然ながら、私のスタッフ全員がこのファンをととても気に入ってくれました。

残念なことに、朝出勤すると、愛用の扇風機がないことが多い。どうやら、私たちがいない間に、他の職場の2、3番手の社員が盗んでいったようだ。私たちが工場内を探し回ると、「新しい持ち主」が必ずと言っていいほど、自分の扇風機だと言って、返してくれませんでした。

ある日、私は解決策を思いつきました。扇風機にNSDAP/AOの鉤十字のステッカーを貼ったのです。

次にそれがなくなったとき、私は簡単にそれを見つけることができました。一番近くにいた従業員のところに行き、「この扇風機にナチスのステッカーを貼ったのは誰だ!」と怒った。

"僕じゃない、僕らのファンじゃない。私たちがシフトを始めたとき、ここにあったんです"と、緊張した面持ちで、ややおどおどした声で答えた。

"知ってる"んです。扇風機にステッカーを貼ったのは私です。私の扇風機よ!"と反論しながら、扇

風機を手に取り、歩き出した。

私のクルーは、扇風機を取り戻せたことを喜んでいました... 卍のステッカーがあろうとなかろうと。



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

Der Kampf geht weiter !

Hebtag Jahn nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Abschätze von Massenmord, Verfolgung, Verdächtig und Verleumdung haben nicht ausgereicht, die Kern der politischen Idee unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu zerstören.

Alle Nationalsozialisten sind weniger arbeitslos, Volk- und Essensgeraten allein bedürftig als im Kampf um die Erhaltung unserer reinen Völkern.

Der Bewegung ist zwar stärker geworden, aber die Gefahr des biologischen Völkermord ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der unersättliche Gegner ist aber dabei, das Volkstum - gegen alle reinen Völkern (V - in England, Sans Mété and Essensgeraten, Challenging and Rassenscheidung.

Oh "Japs" oder "Gigas", ob im Weltkrieg oder im "Brennungskampf", ob mit Propagandamaterial besetzt oder auf einem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitler
Gottwald Lank




N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningthecent.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやることがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the **NEW ORDER**

Number 179 (178) Founded 1978 April 26, 2022 (126)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware countriesmen and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folks. His means are new White immigration, culture distortion, and race-mixing.

Whether "Japs" or "Gigas", whether in election battle or armed battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitler!
Gottwald Lank



NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

SS Defender
against Bolshevism
by Reichsführer SS Heinrich Himmler

FOR DANMARK!
MOD BOLJESHEVISM!

Translated from the SS Original

Julius Reichert der Alldeiner Fitness Book

The Poisonous
Mushroom

Translated from the Third Reich Original
Der Giftpilz

Reichlich Hoffmann

Hitler
in Italy

HITLER
in ITALIEN

English / German / British / English

SS Viewpoint - Vol. 9
Wife and Family

Theodor Fritsch

The Sins of
High Finance

IBORSE!

Luftwaffe War Art
Die Luftwaffe im Bild

English - German / British - English

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO nsdapao.info